

- キャンセルは直ちに担当者までご連絡下さい。直前のキャンセルの場合は、チケット購入や保険加入の関係で実費を徴収することがあります。
- 江戸川印度文化センターでは、インドのお茶とお菓子を頂くことになっています。引率の先生は、生徒の食物アレルギーの有無を再度確認して下さい。
- 今後の連絡は、7月上旬、中旬、直前の3回を予定しています。引率の先生は、夏季休業中の参加生徒との連絡手段をあらかじめ確保しておいて下さい。
- 事前学習課題を7月上旬に配信します。解答の上、参加して下さい。
- 現地では、説明を聞くよりもこちらの質問に答えて頂くことに多くの時間を割きたいと考えています。「4 見学地概要」の「キーワード」をネットで検索するなどして、質問を考えておいて下さい。7月中旬にみなさんからの質問を投稿してもらう予定です。

1 集合・解散

2019.7.31（水） 9:30 小田急線・東京メトロ千代田線 代々木上原駅改札口を出て左側に集合

＊ 代々木上原駅の改札口は1ヶ所しかありません。

17:00 東京メトロ東西線 葛西駅 ＊ 実際には17:45 ごろになる予定です。

2 持ち物

現金、事前学習課題、メモ帳、飲み物、スカーフ（女性のみ）、スマホ（あれば）、その他必要なもの

＊ スカーフ（頭部を覆える大きさのもの）は、東京ジャーミイ見学・視察時に必要です。

＊ 東京メトロ学生用24時間券300円と旅行傷害保険代100円の計400円は集合時に集金します。封筒に学校名・氏名を明記して提出して下さい。

3 服装

見学・視察にふさわしい服装（風通しが良く日差しを遮るもの）

＊ 制服でなくて良いが、短パン、タンクトップ、キャミソール、ミニスカートなどの露出の大きい服、破れたデザインのジーンズ、長く歩くのでサンダルやヒールの高い靴は避けて下さい。

4 見学地概要

- 10:00～11:30 **東京ジャーミイ**（代々木上原駅）

「ジャーミイ」とは、トルコ語で大規模なモスク（礼拝所）の意味。1917年のロシア革命により迫害をおそれたロシア領内のイスラム教徒（ムスリム）のうち、ボルガ川東部のトルコ人が中央アジア・満州（中国東北部）を経由して日本に移住しました。東京に定着したトルコ人は日本政府や要人（政治家や軍人、実業家など）との関係を深め、1935年に礼拝堂（東京回教礼拝堂）を建設しました。最初の施設は1986年老朽化を理由に取り壊されましたが、トルコ政府の支援を受けて2000年に再建されました。礼拝にはトルコ人だけでなく、日本に暮らす世界各国のムスリムのほか、海外からの旅行者も訪れます。カリグラフィやステンドグラスは、イスラム教の教えを表現しているだけでなく、非ムスリムの私たちが見ても壮麗。圧巻です。

【キーワード】ロシア革命、大東亜共栄圏、トルコ共和国の政教分離、偶像崇拝の禁止、カリグラフィ、チューリップ

● 12:00～13:20 **新大久保のコリアンタウン**（東京メトロ副都心線・東新宿駅）

昼食はこのエリアで自由食になります。時間に余裕があれば、ショッピングも可能です。事前に行動予定を立てて、楽しんで下さい！さて、新大久保は日本有数のコリアンタウン（韓国人街）として知られ、韓国食レストランや屋台のほか、韓国コスメや雑貨のショップが集中しています。また、新大久保駅周辺には日本語学校が多数立地することから、近年、新大久保駅の西側（JR 中央線・大久保駅方面）のエリアを中心に多国籍化が進んでいます。韓国、タイなどの食材を扱うスーパーマーケットには、珍しい食材が多くておもしろいです。先日、担当者の前任校である鶴ヶ島清風高校の卒業生に新大久保を案内してもらいました。チーズタッカルビやタピオカミルクティーなどの韓国・台湾グルメを堪能したあと、「アラフィフのおじさん」一人では恥ずかしくてとても入れない雑貨店やコスメショップを巡りました。この街を歩くときには同時に、かつて朝鮮半島の支配を巡って、中国（清）、ロシア、日本が19世紀末に二度の戦争（日清戦争・日露戦争）を起こし、さらに1910年の韓国併合によって朝鮮半島は正式に日本の領土の一部に組み込まれて大日本帝国の植民地となったことなど、日韓両国にはこうした悲しい歴史があることも学んでほしいと思います。

【キーワード】百人組、皆中稲荷神社、大久保文士村、楽器の町、ロッテ新宿工場、
ニューカマー、日本語学校、ホットグ、パッピンス、タピオカ、ケバブ、
大久保通り、職安通り、イケメン通り、すこぶる動くウサギ、
高麗博物館、ヘイトスピーチ

● 14:00～15:00 **トルコ大使館**（東京メトロ副都心線・明治神宮前駅または北参道駅）

原宿・竹下通りの北東、明治通り沿いに大使館があります。現在のトルコ共和国は、第一次世界大戦後のトルコ革命によって成立した国で、それまでの600年の歴史があるオスマン帝国は滅亡しました。オスマン帝国時代の1876年に発布されたミドハト憲法は大日本帝国憲法の発布より古いものです。さらに、1890年のオスマン帝国海軍の軍艦・エルトゥールル号遭難事件では、和歌山県民が救助に尽力したことや同時期に両国の近代化が進んだことなどから、トルコの人々は親日的であると言われています。第二次世界大戦後には、当時の西ドイツの高度経済成長を支える外国人労働者としてトルコ人が活躍しました。

【キーワード】ミドハト憲法、エルトゥールル号遭難事件、トルコ革命、アタテュルク、
ドイツのトルコ人労働者

● 16:00～17:30 **江戸川印度文化センター**（東京メトロ東西線・葛西駅）

「よぎ」さん（本名はプラニク・ヨゲンドラ）はインド西部の大都市・ムンバイ近郊の出身です。インドの大学でおもにITと日本語について学び、来日。2005年から江戸川区の団地で生活をはじめ、多文化共生社会の実現に向けて地元自治会の活動にとりくみながら、日本にあるIT企業や銀行で働いてきたビジネスマンでもあります。2012年に日本国籍を取得、そして今年4月の江戸川区議会議員選挙に立候補して当選しました。こんな経歴をもつよぎさんと、多文化共生社会の実現に向けた課題などについて意見交換をしたいと考えています。

【キーワード】よぎさん、ムンバイの歴史や産業、インドのIT産業、江戸川区のインド人、
2000年問題
